

町政を問う！

一般質問

3月定例会では10人の議員が一般質問にたち、20項目にわたって理事者の方針をただしました。なお、1議員2項目までの掲載とし、質問と答弁は要約してあります。

農業基盤整備費削減と本町農業への影響

森田慎治議員

土地改良基盤整備は農業経営の基本であるが、恒久性に乏しく、新規事業・更新事業を問わず継続し、経営基盤を後世へ継承していくことが大切である。次の2点について伺う。

更新への取り組みと対応は。

②河川には河川用地が存在し、それぞれが主にかかわる管理責任は町村にある。管理がなされなければ、明・暗渠排水効果が発揮できない。対処と取り組みは。

高薄町長

①国の事業仕分けにより、農業基盤整備事業は、極めて厳しい状況に立たされているというのが実態だが、食料を生産する上で土地改良基盤整備は最も必要である。これらの問題を解決するためには政財界、農業団体を含めて、全十勝でこの問題に取り組み、現

政権政党への提案、要望をしていく。

②これまで整備してきた明・暗渠排水設備については、地域との懇談を進め、計画的に管理を行っていく。

山麓線の道々移管促進を

森田慎治議員

町道としての維持管理、路線のありかたと実情を踏まえた取り組みについて伺う。

国道274号線から第8線

南5線を経て大樹線につながる山麓線は、昨今は交通量も増加し、特に30t級の大型車の増加で、路肩の損傷、アップダウンによるコーリング現象を誘発し、危険な状況にある。道々移管の方向を早急に示すべきではないか。

また、町道の損傷防止、付近住民を含む事故防止、危険回避の上からも、南5線道路に速度制限標識を設置すべきではないか。

高薄町長

これまでも一部は道が、道々として改良し、随時移管されてきているが、国費を使い整備しており、なか

なか進まない状況である。安全な通行を確保するため、今後も整備促進を要望していく。

速度制限標識の設置は、所管する公安委員会に対して強く要望していく。

行財政改革と今後の展望

加末良明議員

平成26年度をめぐりに改革を進めているが、交付税の削減が見込まれるなか、安定した財源確保のため、今後の政策をどのように

取り組むのか。

また、歳出では、これまで給与の独自削減や事務事業の見直し等行財政健全化実行プランとして第二次緊急3か年計画を進めているが、22年度で終了する。今後の対応は。職員が減少するなか、事務事業の多様化、地方分権による事務量増加が予想されるが、今後の取り組みについて伺う。

高薄町長

これまで事務事業の見直し等を進めてきたが、社会情勢、経済情勢の変化に対応すべき諸課題も出てきており、そういう面も勘